



丸岡 伸夫 議員

# 地域防災計画の見直しは

町長 修正中である

〔丸岡〕町のホームページに、地域防災計画（平成23年度修正）がある。この計画は、災害対策基本法にもとづき毎年検討を加え、必要が認められるときはこれを修正するとなっている。修正した一番新しいものを公開すべきではないか。

〔町長〕現在、国や県の防災計画に合わせて修正中であり、終わりに次第新しいものにする。

〔丸岡〕耐震性貯水槽は設置しているか。

〔町長〕飲料水用のものはない。

〔丸岡〕避難所の耐震性や非構造部分（天井など）の耐震性は確認しているか。

〔町長〕耐震性は、32カ所の屋内避難所うち30カ所は確保しているが、2カ所は不明である。非構造部分は確認していない。



時間の延長はできないか

## 児童クラブも7時まで

教育委員長

現時点では難しい

〔丸岡〕拠点保育所では、延長保育を利用すれば午後7時まで利用が可能だが、放課後児童クラブは午後6時までだ。

利用する保護者からは、午後7時までにしてほしい、という声があるが、見直すつもりはないか。

〔教育委員長〕午後7時まで延長するには、資格を有する指導員や補助指導員の確保が難しい。

午後6時までに迎えに来ることができない場合、ファミリーサポーターセンターを利用してほしい。



利用者の多い高麗体育館

## 要望書をどう受け止めたか できる限り維持したい

町長

〔丸岡〕2月に高麗地区区長会会長と高麗体育館利用者の会代表の名前で、高麗体育館の存続を求める要望書が出された。住民・地域の人たちが地域の防災拠点も視野に、今後20年間程度を使用可能とするよう要望されたものだが、町長はどう受け止めたか。

〔町長〕大切に管理し、できる限り利用可能な状況を維持したい。ただし安全確保上、使うことができなくなれば、施設の廃止の検討も必要ではないか。

# どう生かす「日本遺産」

町長 各取り組みを展開していく



吉原 美智恵 議員

〔吉原〕日本遺産は従来の文化財保護制度とは違い、活用・発信を重視したものである。大山開山1300年祭を観光誘致の契機としてどのように生かすか。

〔町長〕まず、情報発信、普及啓発、国内誘客、インバンド対策などの取り組みを考えている。

〔教育委員長〕この町の子どもたちに、大山の歴史的な価値、その恵みの中で育まれた自然など、大山を愛する人を育てることが大切であると考えている。

〔吉原〕認定は喜ばしいことだが、短期決戦の感があり、町民の意識の盛り上がりに欠けているのではないか。「地藏信仰と大山牛馬市」のストーリーは、若い世代にはピンとこない。国の史跡も磨ききれず、旅行商品のヒットも見られないが、対策は。

〔町長〕にぎわいプロジェクトや株式会社さんどうの活動も始まり、これから展開される。



大山さんのおかげを大切に

## 男女共同参画の これからは

教育委員長

参画の拡大と啓発に努める

議会でも、女性が防災に関わる重要性の議論があり、あて職の壁はあるが、できることから啓発に努める。

〔吉原〕男女差別の問題は、障がい者差別、部落差別などすべての差別に根っこはつながっている。人権学習のさらなる充実を。

〔教育委員長〕講演会を含め、再検討する。



共に生きる社会をめざして

〔吉原〕今年度、第3次男女共同参画プランが策定される。男女共同参画条例の精神が生かされているか。

〔教育委員長〕各審議会などの女性の登用状況は十分ではない。多方面での参画拡大を働きかける。

〔吉原〕男女ともに助け合い、認め合うことが共同参画の理念だと思っている。特に防災などの面では、女性の視点も重要であり、施策の提案の仕方も違って来る。防災審議会、防災自主組織委員などへの女性参画の周知、啓発が必要ではないか。

〔教育委員長〕県の審